

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	3-1-1		事業名	はつらつシニアサポート事業(高齢者地域貢献支援事業)
担当	保健福祉局保健福祉部高齢福祉課 三好・岡部 211-2976			
全体計画				
事業内容	札幌市の高齢者人口は約35万人、このうち元気な高齢者は約8割の27万人で、今後さらに増加が見込まれており、実りある生きがい対策が求められている。そこで、はつらつシニアサポート事業は、高齢者の地域貢献に結びつけるきっかけとなるような生きがい活動で、高齢者団体等の自主的な運営により実施される事業に対して支援を行う。		<年度別の事業内容>	
	シニアチャレンジ事業は、高齢者団体による集客交流、子育て支援、介護予防、安全・安心、環境保全など地域貢献に係る先駆的な取り組みに対し、経費の一部を補助する。 シニアサロンモデル事業は、高齢者団体が自主的に運営し、高齢者の居場所、活動の拠点として、様々な生きがい活動、情報交換、地域貢献活動などの先駆的な生きがい活動を行うサロンに対し、経費の一部を補助するものである。 また、シニアサロンフォローアップ事業は、本市から3年補助を受け、シニアサロンモデル事業を実施した団体に対して、シニアサロンを継続することを前提に、地域貢献活動に係わる経費について支援するものである。		(平成19年度)シニアチャレンジ事業・シニアサロンモデル事業 (平成20年度)シニアチャレンジ事業・シニアサロンモデル事業・シニアサロンフォローアップ事業 (平成21年度)シニアチャレンジ事業・シニアサロンモデル事業・シニアサロンフォローアップ事業 (平成22年度)シニアチャレンジ事業・シニアサロンモデル事業・シニアサロンフォローアップ事業	
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	シニアチャレンジ事業(3団体) 高齢者全員集合 身体を動かし声を出そう(ふくろうの会) よろず相談事業 町内花いっぱい運動(新陽元気塾) 地域コミュニティ交流促進事業(地域コミュニティ交流促進実行委員会) シニアサロンモデル事業(新規4カ所) シルバーシニアサロン(清田区真栄) シニアサロン緑の里(南区藤野) なごやかサロン(西区二十四軒) シニアサロンつくし(手稲区西宮の沢) シニアサロンモデル事業(継続6カ所) サロンこのはな(豊平区平岸) 小さな憩いの森ブーケ(清田区真栄) はっさむいきいきサロン(西区笈寒) シニアサロンさくらんぼ(北区麻生) 北野まきばサロン(清田区北野) 澄川コスモスの丘(南区澄川)		シニアチャレンジ事業(4団体) 高齢者全員集合 身体を動かし声を出そう(ふくろうの会) めざせ!はつらつシニア隊(新陽元気塾) 笑って聴いて考えよう!西区のエコライフ(西区ときわ大学継続学級運営委員会) 手稲本町パソコン友の会(手稲本町パソコン友の会) シニアサロンモデル事業(新規1カ所) りんごの家中央サロン(中央区南15西8) シニアサロンモデル事業(継続6カ所) シニアサロンさくらんぼ(北区麻生) 北野まきばサロン(清田区北野) 澄川コスモスの丘(南区澄川) シルバーシニアサロン(清田区真栄) シニアサロン緑の里(南区藤野) シニアサロンつくし(手稲区西宮の沢) シニアサロン地域貢献支援事業(1カ所) サロンこのはな(豊平区平岸) シニアはつらつセミナー(3月24日開催) シニア世代が社会参加、地域貢献活動に取り組むきっかけをくるとともに、それにかかわる知識の向上を図ることを目的にセミナーを開催 シニアサロンフォローアップ事業は、20年度からシニアサロン地域貢献支援事業として事業を開始している。	
事業規模	平成21年度事業内容(予算)		平成22年度事業内容(予算)	
	シニアチャレンジ事業 シニアサロンモデル事業(新規) シニアサロンモデル事業(継続4カ所) シルバーシニアサロン(清田区真栄) シニアサロン緑の里(南区藤野) シニアサロンつくし(手稲区西宮の沢) りんごの家中央サロン(中央区南15西8) シニアサロン地域貢献支援事業(4カ所)			
件数等				

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	3-1-1			事業名	はつらつシニアサポート事業(高齢者地域貢献支援事業)		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
シニアサロンモデル事業設置数(累計)	6カ所	10カ所	11カ所	16カ所	20カ所	20カ所	
シニアチャレンジ事業実施団体数(累計)	8団体	11団体	15団体	25団体	50団体	50団体	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 高齢者が趣味や生きがいづくりにとどまらず、社会参加し、高齢者自らが地域貢献活動に取り組むことに対する理解及び活動の促進が期待できる。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力](該当なし) [人材協力]高齢者が社会参加し、地域貢献活動に取り組むことにより、高齢者の持つ豊かな知識や経験をいかすことで、貴重なマンパワーとして福祉のまちづくりに貢献できる。 [情報協力]本市及び各団体のホームページ、各団体の情報誌などの情報発信により、高齢者が自ら地域貢献活動に取り組むことに対する理解の促進が期待できる。 [その他の協力](該当なし)</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり 高齢者の方々がグループをつくり、様々な生きがい活動や情報交換、地域貢献活動などを行うシニアサロン、先駆的な地域貢献活動に取り組むシニアチャレンジは、多くの高齢者が参加できる仕組みとなっている。</p>							
評価(成果)			課題				
<p>高齢者の方々は、これからの高齢社会そのものを支えていく貴重なマンパワーであると認識し、生きがいを持って積極的に社会参加することは、大変重要である。特に、団塊世代の方々が、趣味や生きがいづくりにとどまらず、今後、地域の防災や子育て支援などの多方面でその豊かな知識や経験をいかした地域貢献活動に取り組むことは今後の福祉のまちづくりに欠かせないものだといえる。</p> <p>本事業は、平成17年度から実施しているが、これまで、サロンを設置し、様々な生きがい活動や情報交換、地域貢献活動など高齢者のための拠点づくりを進めるとともに、高齢者の取り組む地域の環境保全活動などの先駆的な地域貢献活動に対し支援しており、高齢者の社会参加や自主的な地域貢献活動の促進を図っている。</p>			<p>はつらつシニアサポート事業は、これまで、サロン事業やひとり暮らし高齢者の訪問などのチャレンジ事業など多様な事業展開を行っているが、今後は、さらに、自主的な事業運営を働きかけるとともに、地域住民や関係団体との連携を一層高め、より広がりある活動を通じて、住民が相互に支え合う「地域福祉力」の充実を図っていききたいと考えている。なお、申請件数等が近年伸び悩んできている。この事業は高齢者の自主的な活動を支援する事業であるが、事業の企画・立案から経理事務等まで全て行わなければならない、かなりの負担となっていると思われる。一方、補助金の支出に当たっては相当の事業内容や透明な会計の確保は当然必要であり、どのような形が望ましいのか難しい課題である。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>団塊の世代の退職による影響などもあり、元気高齢者がますます増加することが予想されることから、高齢者の居場所づくり、高齢者が取り組む地域貢献活動への支援については、引き続き実施する必要がある。</p> <p>シニアサロンモデル事業については、地域性を考慮したうえで年3～5カ所を増設し、シニアチャレンジ事業については、1区に1カ所を目処に活動費を補助していきたい。</p> <p>また、シニアサロン地域貢献活動支援事業については、20年度1カ所、21年度4カ所(予定)、22年度7カ所(予定)に対して地域貢献活動費を支援していく。</p>							

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

計画体系コード		3-1-1		事業名	はつらつシニアサポート事業(高齢者地域貢献支援事業)		
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	33,070	32,570	34,070	32,290	132,000	
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	
		市の債	0	0	0	0	
		その他の	0	0	0	0	
一般財源	33,070	32,570	34,070	32,290	132,000		
予算	事業費	33,070	32,570	22,877	-	88,517	
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	
		市の債	0	0	0	0	
		その他の	0	0	0	0	
一般財源	33,070	32,570	22,877	-	88,517		
実績	事業費	13,487	8,287	-	-	21,774	
	財源内訳	国・道支出金	0	0		0	
		市の債	0	0		0	
		その他の	0	0		0	
一般財源	13,487	8,287			21,774		
事業費の進捗率		(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)				33.8%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)							
(全体) シニアサロンフォローアップ事業は、20年度からシニアサロン地域貢献支援事業として事業を開始している。							
[19年度] シニアチャレンジ事業の応募団体が少なかったことなどから、計画及び予算額との差異が生じた。							
[20年度] シニアチャレンジ事業、シニアサロンモデル事業、シニアサロン地域貢献支援事業とも当初の見込みより応募が少なかったことから、計画と予算額との差異が生じた。また、シニアサロンモデル事業について、4年目以降補助金の交付が終了した後も、継続して自主運営が可能な事業費の設定に見直し、補助上限額を変更した。							
[21年度]							